

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（玄海原子力発電所第3号機及び第4号機 設計及び工事の計画の変更認可（海水ポンプ取替工事））【9】」

2. 日時：令和3年9月15日（水） 14時30分～15時40分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

鈴木主任安全審査官、岩野審査チーム員

九州電力株式会社：

原子力発電本部 原子力工事グループ長※ 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

・資料－1 玄海3/4号機 海水ポンプ取替工事に係る設工認変認 説明事項リスト

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい、規制庁のイワノです。それでは玄海 34 号機の海水ポンプ取替工事に係る設工認へん人のヒアリングを始めたいと思います。それではまず、九州電力のほうから前回のヒアリングで確認した事項について説明をお願いします。
0:00:21	はい、九州電力の榎並でございます。本日はよろしくお願いたします。本日は玄海 34 号機の取替工事に係りまず設工認の説明事項リスト資料 1 のほうに基づきまして、御説明をさせていただきます。本日の説明資料といたしましては、各事項リストのほうが 1 枚ものがございまして、
0:00:41	それに附属するものとしていたしまして、本ページの方で(1)ー1 からA層以上 27 までの資料で御説明をさせていただきます。
0:00:52	そう。具体的な資料の御説明の内容でございますけれども、まずナンバー1 といたしまして補足説明資料の 1 という数字で適用条文の整理でございます。こちらのほうでは、技術の授業 48 条の授業の項目につきまして
0:01:11	内容の御説明をさせていただきます。期間の資料といたしましては、(1)の 111 ページまで用いてご説明をさせていただきます。
0:01:20	続きまして
0:01:23	丹波資料ナンバーの 2 から 7 でございますけれども、こちらが補足説明資料のほうでFI動による影響についてということで、津浪伴います砂移動による排水ポンプのA系につきまして、
0:01:38	資料No.2 から 7 までで御説明をさせていただきます。こちらのほうに用います資料といたしましては(イ)値の 12 から 27 ページのほう道筋ご説明をさせていただきます。最後になります、資料ナンバー8 でございますが、
0:01:55	基本設計方針でございまして、こちらにつきましても、津波に伴います何の影響、こちらにつきまして基本設計方針への影響につきまして、当社のほうからご説明が足りずいただきます。
0:02:09	目の資料内容といたしましては以上でございますので、早速でございますが、資料に沿って説明を開始させていただきます。
0:02:19	九州電力の伴でございます。まず説明事項の一番でございますが、こちらの補足説明資料一番の適用条文の整理についての御説明になります。説明内容につきましては 48 条の増加授業の要求につきましては、平成 24 年の認可から変形要求事項に変更が、
0:02:37	ないことから適用増分でないことを追記するということで具体的には括弧の 1ー6 ページに記載をさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:45	赤字の通りでございますが、48条につきましては今回のへりのもと工事であり ます海水ポンプ改造に係る工事計画の認可以降に要求事項に変更がないこ とから申請対象外であるということで記載を修正してございます。
0:03:01	あと合わせて(1)の2ページ等でございますが、こちらお持ちで変更してござ いいますが、こちらにつきましても元の工事である海水ポンプ改造に係る工事計 画から変更があるものについて、今回の変にでは説明する旨に記載を修正し てございます。
0:03:16	説明事項の一番については以上でございます。
0:03:22	はい。引き続きまして、エステーに説明事項2番から8番までを時出力の低 下から説明させていただきます。
0:03:32	まず2番に関してですか。0.5ミリの評価の位置付けについてということで相続 の資料は記載を追加しましたので、後程ちょっとまとめて、
0:03:44	説明させていただきますが、シミュレーションに用いた粒径の位置付けですけ ども、平均に気流、5ミリを持ち出し名称を基本的なシミュレーションという考え で評価を実施し、堰裕度は十分あることを確認しております。
0:03:57	十分な先ほど持つことから粒径の変化でシミュレーション結果が変化したとし ても、海水ポンプは機能維持できると定性的に考えて説明しておりました。
0:04:06	一方今回精査を通して粒径変化に対する封鎖濃度を定量的な説明が不足し ていることを踏まえました。
0:04:13	踏まえて別途10.1mmの粒径でシミュレーションを実施し、今まで定性的に判 断した粒径変化に対する影響を定量的に評価させていただいております。
0:04:24	続きましてナンバー3ですが、摩耗試験の粒径の設定の理由について説明さ せていただきます。
0:04:31	こちらの補足説明資料は少し追記しております。
0:04:35	熟議隙間を超える粒径を持つ試験粉体はチェック池摺動部に振動侵入しない ため、
0:04:43	主に影響ないってことを考慮して兼用粉体としては試験で用いた軸受隙間 以下の大きさの粒径分布を、
0:04:51	持つ
0:04:52	試験粉体を採用してます。
0:04:54	なお摩耗試験では、濃度しパラメーターとしておりまして、砂の粒径を考慮して も濃度が一定であれば実験結果の影響は小さいと考えております。
0:05:04	続きましてNo.4ですが、砂の混入等も考慮した運転実績についての設計は反 映されているかということですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:13	設計製作上の考慮測った標準設計でありまして、これまでの運転実績、台風時の運転実績等による到来する異物の使用を考慮した個別設計というは行っておりません。
0:05:26	5 番目ですが、
0:05:29	軸受部の閉塞について、その撤去することを踏まえて説明させていただきます。こちら後程補足説明資料の記載を説明させていただきますが、軸受部の閉塞については粒径 1 ミリを超える大きな流出は軸受つまり侵入しませんので、
0:05:45	網目 1 名メートルのストレーナの撤去したとしても、閉塞には影響しないと考えます。
0:05:52	続きましてナンバー 6 番ですが、佐久間も影響に対する粒径について説明させていただきます。
0:05:59	補足説明資料にもこれは記載しておりますが、
0:06:03	もっと閉塞ともに軸受つまり川柳できる振って、
0:06:06	粒径の浮遊差の影響が支配的かと考えております。
0:06:11	7 番熟度の長さについてですが、補足説明資料にこちら追記しております。
0:06:17	最後 8 番の挙績方針に関しては記載の方針を皆をしております。
0:06:25	意識改革に書いてあるという通りユーザーが軸受に侵入した場合でも地区けれど幾つホアシ溝から排出できること及び不動産に対する耐性を有することで、
0:06:37	機能保持できる設計とするという記載に変えたいと思っております。
0:06:42	続きまして補足説明資料の具体的な説明になりますが、
0:06:49	まずページで言いますと当初 5 の (1) の 18 ページになります。構成をちょっと見直しております、
0:06:58	ちょっと赤字が入っておりますが、説明する以外のところはもともと別の場所のあったものを
0:07:04	合体させたとかいうレベルのもので、ご了承ください。
0:07:09	まず 3 ポツの (1) として、今日の冠水ポンプ出席の一関確認方針という方針を記載させていただきます。
0:07:18	基準津波に伴い発生する富士山の一部が軸受潤滑水として軸受に混入した場合における、軸受部の摩耗体制について確認します。
0:07:28	評価にあたっては砂移動の解析シミュレーションを実施することで、
0:07:32	取水口付近の浮遊砂濃度を算出し、別途実施した軸受け摩耗試験の試験条件と比較することで、軸受の寿命評価に必要な比摩耗量を設定します。
0:07:43	で設定した日守りを用いて授業けじめを算出し、基準津波到着後、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:49	到達後、浮遊砂濃度が遵守できる程度まで低下する時間に対して十分余裕あることを確認する。
0:07:56	またはふやさによる守り加えた減らす閉塞についても、取水口付近の札ノードが閉塞を考慮する振幅を改正十分小さいことを確認するという
0:08:06	全体の方針を記載しております。
0:08:10	続きまして、
0:08:12	cup次のページですが、家(19)ですね。
0:08:18	基準津波による砂移動の解析についてというところも改正と記載を修正しております。
0:08:26	まず1ポツの現職派遣会社が材周辺の提出土砂の分析結果においては取水口付近はN20であります、周囲からの砂移動を考慮し、平均粒径は全体として粒径0.5ミリを用いた解析を基本的な使命シオンとして、
0:08:43	対馬南西沖断層群と宇久島北西沖断層群の連動による地震に伴う津波を調整をかわったりはしておりますが、当店はまだそういったによる地震に伴う津波、加古川に対して実施しております。
0:08:59	で、発電所集計の平均粒径に関しては、各地点としては0.1mmから1.2mmの分布しておりますが、
0:09:07	粒径変化による封鎖Nodaの影響を定量的に確認するため、富士山濃度が最も厳しくなる0.1mmを用いたシミュレーションを別途実施するという事になっております。
0:09:18	で、浮遊砂濃度は下降側のほうが大きくなりますということで、
0:09:23	あとは記載の通りの濃度になっております。
0:09:29	続きまして、(1)ー10なり10ですね、20までが解析の結果が載っております。
0:09:39	(1)ー21 ページからが軸で摩耗試験の内容をこちらの方に移して記載させていただきます。
0:09:49	(22)ですが、
0:09:51	もともと試験結果ちょっとここには書いてなかったんですよ。
0:09:55	今もう量としては試験結果をちょっと映してここに記載しております。
0:10:01	試験で用いた時空系の軸受隙間以下の大きさの粒径分布を持つ試験粉体を採用しているということで、
0:10:10	記載させていただきます。
0:10:12	はい。
0:10:15	で、えっと次のページいきまして(1)の23ページです。
0:10:20	ぜひ摩耗量の設定と耐摩耗評価ということでシミュレーションの結果から、
0:10:26	0.5ミリのシミュレーション。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:29	最も厳しくなる加古川の 0.1 便のシミュレーションの結果で、
0:10:35	は最大のノードとしてもう実験の
0:10:39	異物の音未満であることを
0:10:42	シミュレーションで用いた砂粒径と軸受け摩耗試験で用いた砂粒径の範囲では、濃度が一定であれば、摩耗量にも量が粒径に依存しないため、実験の事務評価に用いるしま模様としては、第 3 のしま模様設定する。
0:10:58	という記載しております。
0:11:01	で、実際に記載して設定した日守りをもとに計算したら、2900 時間以上の事務を割り増すということで、
0:11:09	なんか評価の流れになっております。
0:11:14	この 2900 というのは、津波到達後の古さ濃度が無視できる程度まで実施し、
0:11:19	低下するための時間に比べれば十分長いですという説明になります。
0:11:25	続きまして、
0:11:27	ページ飛びまして(1)の 25 ページですね。
0:11:33	閉塞の評価をここに追加しております。
0:11:37	古さによる軸受け摩耗に加えて、閉塞についての評価を実施しております。閉塞は隙間部に砂を購入し軸固着が発生する事象であり、メーカー知見を踏まえすと、●●(非開示情報)／スターすいません。
0:11:52	ちょっと
0:11:54	非開示情報話出しました。
0:11:57	名か知見を踏まえた、ある濃度を超えると発生するということで記載しております。
0:12:05	一方ですね、
0:12:07	実験、今回の実験で用いた砂濃度をよりは、ていうのはですねこうなってるんですか、製作起こる濃度に行っておりは十分小さいため、
0:12:21	時最中十分小さくなっております。
0:12:28	この事故で発生する濃度というのはですね、ちょっと※で下に飛ばしておりますが、当該浮遊砂濃度における実験を別途名確保実施しておりますが、その時の事件を持たに関しては、運転継続可能でありまして軸固着が発生していくようなかったというのが根拠になっております。
0:12:47	なお閉塞では、
0:12:50	異物のほど、
0:12:51	による影響が支配的でありまして、すいませんパラグラフ 2 パラ目に戻りますが、
0:12:58	密度による影響が支配的で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:01	元違いまして閉塞ですので、びっしりまあ
0:13:04	粒子が詰まっているようなときに異常発生するというふうに考えていただければいいんですが、
0:13:11	なのです。打つのが隆起支配的だと、
0:13:15	低粒径としても、そのBC詰まる隙間詰まるためには、隙間に侵入できる粒径の浮遊差の影響は最適であると考えております。
0:13:25	一方ですね局所的に遺物濃度が上昇する事象としまして、
0:13:31	異物逃し溝と同程度の粒径の浮遊性異物延ばし緑診療し、
0:13:36	閉塞することも考えられますが、富士山濃度から算出されます異物逃し溝と同程度の大きさの粒子の個数はですね1リットル当たり1個未満。
0:13:47	というレベルでありまして、時矩形の間の
0:13:51	内部の
0:13:55	水の量に比べ
0:13:58	テーマ1リットルというのは大きめなんですけど、
0:14:02	そこに1個入ってくるかどうかというものになっております。
0:14:07	で、
0:14:08	なおですね発電所周辺の砂の平均粒径は0.5ミリ、中央粒径は最大でも1.2ミリで微小ですと、
0:14:17	出隅以上の粒子はですねそもそも
0:14:23	浮遊しがたいこと踏まえますと、
0:14:25	大きな粒径の砂は用水管にほとんど更新しないと考えられました。
0:14:30	大きな粒径の砂混入でへその影響は小さいと。
0:14:34	というふうに考えております。
0:14:37	以上です。あとすいません、あとそのあとのページ(26)。
0:14:44	に関して、
0:14:46	逃がし溝を(1)ですね、軸受の構造についてということで逃がし未曾有のことをちょっと補足させていただいておりますが、
0:14:54	別のシミズ未満の異物に
0:14:57	夜摩耗や閉塞の影響を低減する設計と
0:15:01	そういった目に物のホアシ水を書いているということをちょっと明記させていただいております。
0:15:07	あくまで異物の清水未満ですので、大きいものだけじゃなくて小さいものも含めて逃がすという役割が、
0:15:15	あると思ってますって。
0:15:17	それより大きい例えば4たAといいますのは清水より大きい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:21	いう形のものに関してはそもそも軸受内部に入らないと思っております。
0:15:28	(2)の砂粒径と摩耗の関係。
0:15:31	ということで記載しておりますが、
0:15:34	そんな本十字の実験の摩耗は
0:15:37	地形隙間リストはこういう休止摺動部がする事象でありまして、
0:15:42	離型隙間に侵入できる粒径の浮遊冷め共和社会的であります。
0:15:48	またですね一般的に粒径とも関係は粒径が大きくなりに従って設けますが、
0:15:54	濃度一定の条件下では、ある値を超えると粒径によらずいていないと。
0:16:00	すいませんちょっと書き方がわかりづらいかもしれないですか逆の言い方をしますと、
0:16:05	基本的には濃度一定の条件であれば、粒径によって依存しないと。
0:16:11	ただし、ある値より小さくなると、もうとしては小さくなっていくというふうにも読めますので、
0:16:19	ちょっと補足させていただいております。
0:16:22	で、メーカーの知見を踏まえますと、新たにこういう粒径であれば本軸受の摩耗割引にはついてなると考えております。
0:16:31	込める飛ばしておりますが、てけ摩耗試験による摩耗を考慮した値として今メーカーつけを記載しております。
0:16:39	一般にですね摩耗部分のものが削れていって摩耗が発生してそこに傷ができたたり真水ができた場合ですね。
0:16:50	そう溝より小さいものに関してはそう溝の中に入り込んでしましまして、
0:16:55	もうとしての影響は小さくなると。
0:16:58	ということは上げられております。
0:17:01	なので摩耗量を考慮して、
0:17:05	この実際の応力を考慮して、これより大きいものであれば、そういうふうな現象は起こらないと考えておりますので、
0:17:14	※これより大きい粒径を
0:17:17	用いていけば問題ないと考えております。
0:17:21	その目なお書きでそいつ一つ上を書いておりますが実験結果で軸受け摩耗試験で用いた粉体はすべて蒸気隆起を超えておりますということを記載しております。
0:17:32	あと最後(4)のところには堆積の話はこちらのほうにまとめておりまして、
0:17:38	体積としては粒径の影響は非常に小さいので問題ないと思っております。
0:17:45	説明としては以上になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:56	規制庁の今野です。九州電力の方からはすべて全体通して説明は今ので終わりということによろしいでしょうか。
0:18:04	はい、九州電力の榎並でございますはい弊社からの御説明としましては非常になります。コメント等ございましたよろしくお願いいたします。
0:18:16	規制庁の今野です。説明ありがとうございました。それではちょっと順番にお聞きしていきたいんですけど、まず補足を通しページの 19 ページをお願いします。
0:18:29	まずちょっと前提条件なんですけども、(2)の上から一井
0:18:38	9 行目のところですね、浮遊砂濃度、当初行目のところからで粒径変化による浮遊砂濃度への影響を定量的に確認するため、浮遊砂濃度かとも厳しくなる。0.1mmを用いたシミュレーションを別途実施するっていうふうにあるんですけど。
0:19:02	すみませんとめの確認なんですけど、これは摩耗において摩耗の観点で 0.1 mmが一番厳しくなって別に閉塞の観点についてはここには何も書いてないっていうそういう理解でよろしいですか。
0:19:18	すいません九州電力のテラタですけども。
0:19:23	そうですねとった閉塞に関してもですね農道が上がっていくと厳しくなるということで摩耗と閉塞合わせたつもりで書かせていただいているんですが、ちょっと確かに読めないような状況にはなっております。はい。
0:19:38	規制庁の伊ワノですとですねすいません趣旨はですね、1 個前のページのところではですね、こういうことを確認します経費と要するに摩耗について確認します閉塞について確認しますっていうふうに書いてあって、次のページにあって、最も厳しい条件なんですって書かれると、
0:19:56	閉塞と摩耗両方について厳しい条件なのかなというふうに読めるんですけど、そうではなくって、ここについては、摩耗の情報なものについては 0.1mmが最も厳しくなっていますので、閉塞については、
0:20:09	当かどうかっていうところのその摩耗についてだけ言っているのが閉塞についても同じように言ってるのかっていうところがちょっとよくわからないので、ちょっと説明を資料でものについての閉塞についてなのか。
0:20:24	いうところをちょっとはつきり修正かけ合わせていただきたいんですけども、九州電力の方がいかがでしょうか。
0:20:32	来例のテラタです。了解しました閉塞も両方ですので追加させていただきます。
0:20:37	一つは、
0:20:40	閉塞についても 0.1mmが最も厳しくなる情報知見なんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:48	TOTOへと9電の手だったんですけども。
0:20:51	基本的に閉塞もですねやはり濃度が高くなると起きやすくなってくると考えておりますので、浮遊砂濃度が一番厳しくなってくるものということで、そこはもう両方に関して、
0:21:02	いえると思っております。
0:21:05	規制庁のイワノです。止まもについては後ろのほうで今考えている粒径の範囲ではもう会え等粒径摩耗の影響は粒径に依存しないということを書いてあるんですけど、閉塞についても、この粒径の範囲を考えたときに濃度と粒径二つパラメーターがあると思うんですけど。
0:21:24	のことだけにお考えてればよくて、粒径については特にあまり考えなくてもいいっていうところの説明はないかというふうに説明されてるんでしょうか。
0:21:35	はい、えっとですね、9電のテラタですけども、
0:21:39	閉塞についてに関しては、模様ですね粒径がこうシビアに効いてくると、基本的に考えておりませんで濃度が非常にここでくるとそういう現象は閉塞的現象が発生すると。
0:21:54	というのは、まず基本的な考えであります。ただしですね局所的にそういう濃度が上がってくる現象としては非常に大きい粒径のものがぽんと入り込むと。
0:22:05	というような状況が考えられるんですけども。
0:22:09	そういう粒径のものというのはちょっと記載させていただいてるそもそも浮遊しがたいし、舗数としても非常に小さいので、あれだけの終了が大きい配管の中でこのまま軸受の中でポンと入ってくるとかそもそも上がってこないというようなですね考えもありますので、問題ないというふうに考えております。
0:22:30	なので濃度が、基本的に主パラメーターということで、
0:22:34	今多く摩耗脱ですとですね利益が本当小さくなってくと検討に摩耗が小さくなるという現象があるんですが、閉塞としてはまあそういうものは基本的に考えられていませんので、
0:22:47	濃度というものがやっぱり濃くなるのを、
0:22:51	という意味で一番厳しいというのが0.1の今のシミュレーション結果と考えております。
0:22:59	はい、規制庁のイワノです。承知しましたもつと閉塞両方についてということで承知しました。なんかちょっともうた閉塞についても、わかりました。当所としましてはちょっと次の確認事項に移らせていただいて、
0:23:16	で、じゃあその熊本閉塞両方の観点についてなんですけど、その浮遊砂濃度が最も厳しくなるのが0.1mmですってということなんですけど、その中で0.1mmが最も厳しくなるっていうところは、資料のどこを見ればわかるんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:34	すみません。はい。定修で亡くなってる意味が範囲で、あの中で最も0.1mmが一番厳しくなるってところですねすみませんちょっとあのその点についてお願いします。
0:23:44	はい、去年のテラタですけども、粒径による0.1と0.5の記載をですね(1)ー20で富士山濃度を記載しております。
0:23:56	所見をいただいたらわかると思うんですが、冬差としては基本的にお近くなればなるほど、ノートとして上がっていくということで、
0:24:05	沈む速度がですねそもそもどんどん細くなっていくということで濃度が上がるだろうというのが数式的にこちらも確認しております、あと場所により損も含まれてまし名称まわしてこういう結果が出ておりますので、
0:24:18	小さくなればなるほど、
0:24:20	ノードは変わっていくと。
0:24:23	ただですね小さくなればなるほど濃度が上がって上がっていくってことですね、明示的に書いてはないので、そのあたりでちょっと記載したほうがいいのかなと今思ってますので(19)ページにそのあたりは追加したいなと思っております。
0:24:39	以上です。
0:24:42	規制庁のイワノです。そうですね。とりあえず私が理解している摩耗について言うと、
0:24:52	粒径が小さくなればなるほど、
0:24:56	シミュレーションの結果、シミュレーションに粒径を入れてもいいの浮遊砂濃度を求めると粒径が小さくなればなるほど、濃度が大きくなりますとで今考えている等粒径の範囲では、
0:25:12	摩耗についてはもう摩耗量っていうのは、当粒径に依存しないっていうこの二つの条件があって粒径に依存しないのであれば、濃度だけ考えればよくなって、ノードが一番高くなる場所である、その0.1ミリっていうのが最も
0:25:30	厳しいシミュレーションの浄化が厳しい条件ですっていうそういうふうな理解をしてるんですね、その今のその粒径に依存しないということも踏まえて多分0.1mmが最も厳しくなるっていう条件だと思うので、そのところが、どうして0.1mmが
0:25:47	スズキを厳しくなるっていうところをしっかりとわかるようにちょっと資料に追記していただきたいと思います。あとさっき説明していただいたかもしれないんですけど、閉塞についてもその0.1mmが一番厳しくなる条件だよっていうところについてもあわせて追記をお願いします。
0:26:07	はい、わかりました9電のテラタです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:10	ちょっとすみませんけど確認なんですけども、流通系の
0:26:17	変化によってことも考慮し、その摩耗への影響も考慮してこの解析の今の(1)の19ページのところで最も厳しくなるとして徹底この位置っていうのをやってみますっていうのを記載したほうが、
0:26:33	いいってような趣旨でしょうか。規制庁のイワノです。趣旨ですねその今の点1ミリ濃度と粒径と二つパラメーターがあると思ってるんですよ。濃度が大きければ大きいほど、守り大きくなるし、一方で粒径が大きければ
0:26:51	普通に3ペーパーみたいなので削ったようなことを考えたら、粒径が大きくなればなるほど、当期ずれ量は大きくなると、一般的に思うんですよ。ただ、今回は今見てる粒径の範囲であれば、当守るように、
0:27:08	粒径が依存しないってそういう設定があるので、濃度だけ考えればよくて濃度が高いところを選んでるっていう、なんかそのロジックっていうのが
0:27:20	よくよくこら辺の知識がある人が読んだらもう少しわかるのかもしれないんですけど、普通の人を読んだら層厚について、いきなりこの0.1mmが一番厳しくなる条件にはなかなかたどり着けないんじゃないかなと思うんですね。
0:27:33	なのでちょっと追記をお願いしたいとそういう趣旨です。
0:27:38	はい。来給電載ってるあった。
0:27:42	ただですけども、趣旨はわかったんですけどちょっと1点だけあとこっちの気持ちというか、説明させていただきたいんですけど、あくまでシミュレーションはですね、濃度が高くなるっていう意味で、
0:27:56	0.1が厳しくなるっていうとこだけでやっているつもりなんですよ。そのあとの(3)の
0:28:05	実験の値。
0:28:07	対応踏まえて(4)ですね、なんで学校長23ページ。
0:28:11	で初めてこの暇も出を設定するところで、
0:28:15	このシミュレーションの粒径等軸受け摩耗試験の粒径の範囲だと濃度一定であれば、摩耗量がゆえに増資ないので霜状としては実験の辺りが使えますっていう答えを入れているんですけど、そのシミュレーションもそこまで踏まえた記載をここで書くべきかってちょっと唐突な気がするんですけど
0:28:35	やっぱり規制庁さんとしては入れたほうがわかりやすいっていう位置付けの考えなんですか。
0:28:40	はい、規制庁の止野です。すみません。これも一番厳しいっていうのは濃度だけを見て一番厳しいと言ってるだけで粒径については何も考えてないっていうことなんですかね来ここの今の
0:28:53	19ページの記載の時点では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:58	9 電のテラタですそういう位置付けつもりで書いてはいたんですよ。
0:29:03	規制庁の今のそうするとじゃあなんで粒径は考えなくていいんですたっけ、その粒径に対する影響みたいなのを、
0:29:11	考えずに、一番厳しい条件を設定できるのはなんでなんでしょう。
0:29:16	単純にですね浮遊 3 ノードの
0:29:20	高さっていう意味で粒径、
0:29:23	もう選ぶと 0.1 っていう一致が出てきたって記載してるんですよ。そのあとで、あと、
0:29:31	もうに対する影響を決めるその比摩耗量っていう決める括弧の中で初めて作家の多い。
0:29:37	粒径に依存しないっていうことも踏まえて比較して設定してるっていう位置付けなんですよ。
0:29:46	規制庁の今の側溝のほうがいいかなっていうところでシミュレーションをやるのは一番厳しく削れる摩耗するところの
0:29:58	限界というか、一番保守的な条件が知りたくって 0.1 のシミュレーションをやったっていうわけではないんですか。
0:30:07	私は最終的な摩耗量が一番厳しくなるところ。
0:30:12	うん見るべきだと思って、その途中経過でその濃度が一番厳しいところを取ったとしてももう少し粒径のほうが効いてくるかもしれないので、
0:30:20	そうであれば、その粒径も踏まえた
0:30:23	何て言うんですかねその濃度だけを議論することにどれくらいの意味があるかっていうところはよくわからないんですけど、ちょっと説明していただけますでしょうか。
0:30:34	経営のテラタです。おっしゃってることはわかったので基本的に追加をさせていただきますと思っております粒径もう
0:30:43	問題ない範囲でやってるということで、
0:30:46	記載をさせていただきますと思うんですけどもともとこう書いてた理由としては濃度が濃度でやってるという、
0:30:53	厳しくなるところでやっていると。
0:30:58	それと別にあと粒径の依存性はどうなんですかっていうのはまた別途検討して比摩耗量を設定するっていう
0:31:04	いうふうに考えてたんですけども、
0:31:07	それも踏まえてですね解析の中でこれをやると今おっしゃってる、確かにその粒径が実は厳しくなければこんなとこやる意味ないじゃないのっていうような御指摘だと思って確かにその通りなのですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:19	それは記載させていただこうと思います。
0:31:22	はい。以上です。はい、規制庁の今野です。少々お待ちください。
0:31:44	はい、規制庁の今野です。すみませんそれではそのように修正をお願いします。
0:31:50	続きまして、
0:31:58	徒歩の 14 ページ、通し番号、ページで言うところの 25 ページをお願いします。
0:32:11	はい、少々お待ちください。
0:32:15	あと、
0:33:22	はい。
0:33:25	はい、規制庁の伊ワノですお待たせしました。
0:33:29	通し番号の 1-25 ページのところ
0:33:34	そうですね。米印のところの話をちょっとお聞きしたいんですけど、この米印で透明化知見踏まえると、このマスキング箇所のウェイトパーセントを超える異物濃度で軸固着が発生する可能性があります。
0:33:52	ありますってことが書かれてるんですけど、すみません何でしたっけ。
0:34:01	米印のところの実験っていうのは、(3)の実験のことなんですかそれともまた別の実験の話をされてるんでしょうか。
0:34:11	ちょっとすみません、確認させていただければ幸いです。
0:34:14	すみません九州電力の提案だったんですけども、別の実験になります答えとしましてはですね。はい、非常に高度の実験をですね別途しておりますその際の知見をちょっとここで書かせていただいているということになります。
0:34:30	以上です。
0:34:33	規制庁の伊ワノです。そうするとですね、別の実験っていうのがですね、今回の海水ポンプのこの構造とこの海水ポンプの
0:34:49	検討に対して適用できるのかという実験でどういう構造のポンプ使っていて、それは上昇流とかっていうところを加味されたものに加味されたような実験で、こういう知見があってそれが今回の
0:35:05	海水ポンプの説明の中でも適用できるっていうところの説明がちょっと足りないのかなと思うんですけど、その辺りはいかがでしょうか。
0:35:16	えーっとですねおっしゃる通りなところはあるんですけどもちょっとですねこの実験のですね、電力の共通の実験になっておまして、当社とメーカーの方。
0:35:29	以降だけでですねちょっとすべて出していいかっていうのが判断なくて各社に今からずっと聞いていかないと実験結果を消せないということになっておるんですけどその適用河成について大丈夫ですかっていうのはある程度

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:45	正確ななんていうんですか、データとか数値をですね省いた状態でテキスト例えば粒径としては隙間に入るようなやつを選んでますとかですねそういうのはずっとか言葉で書いていくことは可能かなと思っておりまして、
0:36:01	そういうふうになんか追記をさせていただければなと思うんですけども、太い赤でしょうか、規制庁のイワノです。全部その実験のデータとかそういうものを出して欲しいという趣旨ではないので、それに適用できるっていうことが、
0:36:17	分るの際、必要最低限の情報を入れと入れていただければ結構です。すみませんその上昇流かどうかっていうところについてはいかがでしょうか。
0:36:28	時分析がお願いしますアウトです。すみません。
0:36:34	サイトのイワノです。ちょっと上層流下と上昇流でやった実験かどうかっていうところもちょっと巻きにしてるポイントなので、そういうところも踏まえてちょっと教えていただけますか。
0:36:47	まず給電のテラタですけども、実験装置としてはですねこの格好を1-21。
0:36:55	と同じものというふう聞いております。ちょっと正確な話は聞くんですけども。
0:37:01	こちら真上から流して下に落としていくような実験ですので上昇流かと言われると、逆ですけども。
0:37:09	その差がですね実験結果に関わって狂うかなっていうところは思っておりましてどちらでもいい実施加工だろうとは上昇だろうはちゃんと事業系の中に遺物の一定の濃度の水が入っていけば、
0:37:27	実験としては再現できているというふうには考えております。
0:37:32	規制庁の鈴木です。気にしているのはですね。
0:37:36	この米印の
0:37:39	説明で
0:37:43	結局、固着はしなかった。
0:37:45	おそらく
0:37:48	説明文を見ているとモーターの軸トルクが
0:37:53	定常値より上がったところを持って
0:37:57	かなり詰まったんだらうと。
0:38:00	いうふう判断したんだじゃないかなと思われるんですけど。
0:38:04	その場合ですね、字句の構造。
0:38:09	見ると、下降流の状態、
0:38:13	ちょっと詰まっていくってなると、おそらく、出口のほうから、だんだんだんだん入口のほうに詰まってきて事故全体としてですね。
0:38:23	それなりに
0:38:27	詰まった状態のことを

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:30	見てとっているのかなっていうふうに推測できるんですね、
0:38:35	一方
0:38:37	上昇流の場合は以前にもお話ししましたけれども、
0:38:41	そもそも上昇流のときには上昇している流体よりかおそらく
0:38:49	異物っていうのは、若干上昇してく。
0:38:56	速さが遅くなるんじゃないかなというふうに考えていてそうすると
0:39:02	その方が集まりやすいのかってそうして国考えたときには、
0:39:07	おそらく字句の入口側のほうから詰まっていくのかなあとで、
0:39:13	上のほうはむしろあまり進まないのかなっていう気が
0:39:17	するんですけどもそうすると詰まった状況詰まる状況って、
0:39:24	おそらく下降流と上昇流って違うんじゃないかなって気がしてですね、
0:39:29	下降流の方が、先ほど言ったように、
0:39:33	濃度が高い。
0:39:35	ところまでなかなかつままないけど詰まったり詰まっちゃうみたいなんで、上 昇流は、そこまで野田がなくても、
0:39:43	つまり始めるだけ詰まってる範囲が狭いので、実はそんな固着ってほとんど 考えなくてもいいんですよ的な
0:39:51	そういう。
0:39:53	減少になるとも考えられるので、
0:39:59	メーカーの知見を踏まえると言っている。
0:40:02	この濃度ですね、これをどの程度の信頼性があるかって考えたときに、
0:40:10	単純に桁が違っていれば良いいいですねぐらいの話なのか止む
0:40:16	結構気悪いところまで見ることができるほどの信頼性があるんですよとか、ち よっとその辺がちょっと我々としては、
0:40:26	肌感覚がないので、そこを九州電力としてはどういうふうにとらえて、この比較 を、
0:40:33	しているのかっていうところがちょっと気になっているってことです。
0:40:38	すいません給電のテラタですけども、その上昇とか量、下降のですね。閉塞 に対する影響っていうものはちょっと今後検討して記載をさせていただきたい と思っております。ちょっとすみませんもう一度だけを
0:40:53	お話しさせていただきたいと 10 上昇の場合の詰まり方と加工の場合の詰まり方 で、
0:41:00	ちょっと違いがあるって言われてたそのさっきの 1 件、
0:41:04	上昇のほうが確か一基率 0 って言われてましたすいません、もう一度その 隔離するお話ししていただけたらと思うんですけど正常スズキです

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:13	上昇と下降で異物のスピードが違うと思ってるんですよ。加工の場合は流体と同じスピードもしかさらに重力加速度が加わって、
0:41:24	表としては若干早く行っちゃうかもしれないで上昇の場合は、
0:41:29	水の流動のでの発生する異物に対する浮力によってその浮力で物が上昇していくっていうことに
0:41:42	なるので、ここは重力加速度が下側に向いているから、おそらく、水のその流体よりか、異物のほうが上昇してくるの遅いんじゃないかなっていうふうに
0:41:55	思うんですね。そうすると、
0:41:57	ある隙間に一定の濃度のものが同じ濃度のものが入ってきたとしても、
0:42:04	つまり方が違うっていうふうに考えているんで下降流の場合は、
0:42:09	流体と一緒に速度で加工していき物が加工仕組んであったら、松丸っていうことは要するに、
0:42:16	出口側のほうから詰まっていくなだらうなって下側ですね。
0:42:21	そうすると、下側詰まっていてそうすとどんだんだんだん上側にも詰まっていっちゃうので、一様に詰まっていて全体的に詰まるから
0:42:31	その週摺動抵抗が増えて塾トルクが増えて固着に近いような感じになるのかなって気がするんですけど、上昇流の場合はさっき言ったように異物が流体よりか遅く上昇していくとなるとするとやっぱり入口側から詰まっていて、
0:42:49	詰まっちゃったらもうそこ入り込まないので他に打つが、そうすると、自己全体で詰まらないんじゃないかなって気もしていて、その
0:42:58	つまり方最初にどのぐらいのところから詰まっていくのかっていうことと、つまり詰まっている状況っていうのが、それより進展するかしないかっていうところで、多分この
0:43:13	固着というふうに判断する。
0:43:15	状況が違ってくるのかなっていうところが私が持ってる疑問でそれが適用性があるのかどうかっていうところを聞いた。
0:43:24	趣旨です。
0:43:26	了解しましたちょっと
0:43:28	それぞれの補償考えさせていただいて、記載を充実させたいと思いますが、規制庁鈴木ですよろしく申し上げます。
0:43:42	規制庁のイワノです。次に、次の確認事項に移らせていただきたいと思います。次はですね。
0:43:49	都市ページの26ページのところなんですけど、の(2)のaと粒径たまもの関係っていうところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:58	時空系スズキに進入できる粒径へと粒径の浮遊砂の影響が支配的であるっていうふうに書いてあるんですけど、この支配的であるっていうのは、ほぼ
0:44:10	気をつけない、軸受けつきマイルも大きいやつはもう寄与しませんっていうふうに言ってるんですかね。そ支配的であるっていうのはちょっと脇をするけど、これが大きいですよというふうに読めるんですけど、寄与しないわけではなくて、ちょっと気をつけてそれは違うあんだだ支配的じゃないですよってそういう説明なんでしょうか。
0:44:29	ちょっと念のため確認させていただきますと幸い、
0:44:32	9電のテラタですけれども、寄与しないと思っていただいて、問題ありません。
0:44:38	はい。ちょっとそういう意味で違ってきずっと使って進んでですね、わかりづらければ、修正させていただこうと思いますが、
0:44:47	規制庁のイワノです。えっとですねちょっとまた最後のほうにまとめのところの話をさせていただくときに話そうかと思ったんですけど、結局ですね、今 0.1 から 1.2 っていう間の粒径を考えていて、
0:45:03	この軸受けつきマイルもちっちゃいものについては交代をしますので、おっきいものについては関係ないんですけどいうことだったら関係ないですか、要はもうすいません。1.0. 1 から 1.2 までの粒径に対してその網羅的に検討がなされてるかっていうところがよくわからなくてですね。
0:45:20	ここに書いてあるのは軸受隙間よりもちっちゃいものについてはこういう対応し、こういう対応しますっていうのが書かれていて、メジャーおっきいものについてはどうなんですか、支配的ということは気をするのであればな、何かどういう検討してるんですかっていうところがよくわからないので、そういう観点を整理するという意味でもちょっとこの記載は、
0:45:40	直していただければなと思っています。
0:45:43	いかがでしょうか。
0:45:45	了解しました対応させていただきます。
0:45:48	はい、規制庁の止野です。続きましてその下のところなんですけど。
0:45:54	またっていうところですね、摩耗が大きくなる。すいません。
0:45:59	一番下の行のところで濃度一定の条件下では書いてあるんですけど、これも確認なんですけど、この濃度っていうのは、質量パーセントのところの話をしてるんですかねそれとも体積濃度の話をしていますか、それとも質量濃度堆積のどちらでもいいので、どっちか特定していませんということなんですかね、ちょっとその
0:46:18	ところを確認させていただければ幸いです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:21	9 電のテラタですけれども、質量濃度等を基本的に考えておきまして、ちょっと堆積とかでも大丈夫かっていうのはですね検討トップにはないんですけども。
0:46:33	現状はですね質量%濃度ということで記載させていただいております。
0:46:38	規制庁のイワノです。承知しましたのではそこは必要%濃度が一定の条件下でっていうふうに正確に書いていただけますと幸いです。
0:46:48	来れたそうです。了解しました。
0:46:50	はい。規制庁のイワノです。質量パーセントの一定の条件下では
0:46:58	この今見ているような粒径では摩耗について粒径に依存しないっていうことが後ろのところで説明してあると思うんですけど、
0:47:15	えっとですね、やはりどういう原理で、
0:47:19	摩耗が摩耗量が粒径に依存しないかっていうところが、今の説明だけだとここに書いてある説明だけだとよくわからなくてちょっとどういう原理か。
0:47:29	っていうところも踏まえてちょっとまず、口頭でよいのですね口頭でちょっと説明していただいてもよろしいでしょうか。
0:47:36	すいません給電載ってるあったんですけども。そうですね一番最後の 27 の米のところでもちょっと書かせていただいておりますけども。
0:47:47	摩耗の傷が実際どれだったか。
0:47:51	やったかっていうのを含めて今この値をメーカー付けとして書かせていただいておりますので、
0:47:56	えっとですね一般的にその他摩耗は発生して傷ができてそこに水が溝ができると。
0:48:03	異存そうするとセミナーの中で利用それを小さい粒の
0:48:09	今は入り込んでしまうと。
0:48:12	今まで例えば 10 粒で、
0:48:14	もう全体的にしたものが、
0:48:17	その中に入り込むことによって、例えば 2 とか 5 とか減ったとして、
0:48:22	半分ぐらいの
0:48:24	ものしか摩耗正面摩耗に対しては影響を
0:48:28	与えないように、
0:48:30	なるというのが考えられます。
0:48:35	実際の実験結果を踏まえて、
0:48:39	その値とされ等を、今回の結果の辺り。
0:48:44	そして、粒径としては今の記載の値を超えていけば、少なくともそういう現象が発生しないと思っております。ちょっとわかりづらいかもしれないんですけど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:54	例えばですねこのボールの中に何か硬いものを入れて、
0:49:00	すかすかの状態だったらボール
0:49:04	ボルトその下にまだ至っても何でもいいですけどここを一定すボールを動かした後は中の
0:49:12	多摩みたいなの転がるだけで堆積図なんかを与えないと。
0:49:16	じゃあそのボールより大きいサイズのなんかこう溜まっていくかですね
0:49:21	かたいものを入れて推しつけた状態でやると下のまな板のほうは、傷がついていくっていうそういうのがミクロの世界で起きてるっていうのをもとに今ちょっと下階を記載させていただいております。
0:49:41	規制庁のイワノです。初層ちょっとすいません、わかりづらかったかもしれないんですけどいかがでしょうか。規制庁のイワノです。すいません少々お待ちください。
0:49:53	規制庁の止野です。すいません、ちょっとまだよくわかってないんですけど、
0:50:00	ちょっとすみません、
0:50:02	ここちょっと私の理解なんですけど、これ何か私のイメージだと、粒径に依存しないっていうふうに言ってるんで、ちっちゃい粒径が
0:50:12	の多摩が10個あったパターンと、あとおっきい粒径のやつが、例えば三つ二つあったパターンでそれぞれ質量濃度は一定になるような条件ですと、
0:50:26	そのときに、じゃあおんなじぐらいの摩耗量なんですっていうそういうその二つの
0:50:33	小さいときと大きいときで摩耗が一定になるかっていうところの説明をされてるのかと思ったんですけど、その
0:50:40	今の説明だとなんか粒径に分布があるような話をされているんですかね。私はちっちゃいものについては均一のちっちゃいものが10個ありますと、おっきいものについてはおっきいやつが隆起起きる系のおんなじよう粒径のものが二つありますんでその条件下で、
0:50:58	森尾どっちがええと同じなんですよっていうそういう説明なのかなと思ったんですけど、何かその粒径の中に既存の中に入る入らないみたいな数が変わってきますみたいな話になると、何かちょっと分布があるような粒径の
0:51:12	ことを考えて仮定して説明しているのかなっていう気もしたんですけど、何かちょっとその辺いかがでしょうか。
0:51:20	9電のテラタですけども、分布があるっていうふうには考えておりません。あくまでも記述の粒径のものに対して、
0:51:31	先ほどお話をさせていただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:34	ないようなことが成り立つとをとりますちょっとわかりづらいかもしれないんですけども、
0:51:42	おんなじ場所だけをずっと削っていくわけじゃなくてですね、
0:51:47	砂お幾つっていうのは、全体的にこう削っていくって考えたときに、
0:51:53	削れた部分ができたときに、
0:51:57	それより小さい。
0:51:59	粒径のものっていうのは、聖くなりますよねっていう
0:52:03	そういう位置付けですね。
0:52:07	。
0:52:08	規制庁のイワノですとりあえず何かその分布がある4粒径を考えてないっていうことは、については承知しました、ちょっとここだところですね、一般的な話なのであれば、何かその教科書とか何か主要な論文みたいなものに
0:52:23	原理みたいなのか説明されてそうな気がするんですけど何かそういう参考資料みたいなものって、何かあれば、共有していただきたいんですけどいかがでしょうか。
0:52:34	えっ。
0:52:35	そうですね。共有させていただきたいんですけど、
0:52:39	Value今回ですね流体の中の
0:52:44	砂なんていうかですね、異物っていうので考えてまして、
0:52:52	それに関するやつをちょっと見つけられてないっていうのが状態なんですよねあくまでも乾いた状態で、
0:52:59	削っていったときにどう、どうなってますかっていうような論文とかはあるんですけど。
0:53:06	ちょっと共有はそういうのだったらできるかなと思ってまして、
0:53:12	そういう論文の中とか呼んで、
0:53:15	こういう原理なんでこうなると考えてますっていうふうに
0:53:19	に考えて今ちょっとこういう記載をさせていただいてるっていう形ですね。
0:53:26	規制庁のイワノです。とりあえずですね我々何かそもそも乾いた湿った前にどういう原理で、そういうことが起きるのかっていうところがまずよくわかってないので、まずはその乾いたものについて、
0:53:42	ちょっと資料共有していただいてそこから濡れたこの今のこういう海水ポンプのような状態についても適用できるかどうかっていうその検討に検討したいっていうその二分2ステップでいきたいんですけど。
0:53:56	なのでちょっとまず資料共有していただきたいとそういう趣旨のことですね、すみません、お願いできますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:02	ああいったちょっとどれを共有するかを含めて検討してさせていただきたいと思います。
0:54:08	はい、規制庁のイワノです。お願いします。それとですね、ここに書いてあるメーカー知見を踏まえて、踏まえて米印を超えの当粒径を越えるのであれば、もう1点になりますってところの
0:54:25	マスキング箇所の粒径の話なんですけど、これについてもですね、
0:54:33	これは何かどういう実験この(3)と同じ実験の話なのか、それとも別の実験なのかでもし別の実験なのであれば今回の実験にさっきと同じ話なんですけど、というふうにどういう根拠で適用できるのかって言うところもちょうとあわせて教えていただきたいんですけど。
0:54:52	お願いします。はい。時でのテラタです。これは括弧昨今さんです。
0:54:59	すいません(3)いいですか。ここに載せてるあの試験と全く同じものの結果を今載せてるっていう形ですね。
0:55:10	その試験結果をもとに数字を今載せさせていただいてるっていう形です。
0:55:16	はい、規制庁のイワノで承知しましたこれは(3)で回帰示せる実験での結果として、これくらいの気づかってきていて、そこからすると、
0:55:31	この粒径を超えれば一定になるっていうそういう結論を導いてるっていうことですね、措置いたしました。
0:55:39	はい。
0:55:42	規制庁のイワノで少々お待ちください。規制庁の矢野です。えっとですね。
0:55:48	ここまでがちょっと個別のところの話でですね、あとはちょっとその全体の話をしたんですけどちょっとさっきもお話したんですけど、今、
0:55:59	ちょっと待ってくださいね。少々お待ちください。
0:56:04	お願い。
0:56:07	規制庁続きでちょっと資料の
0:56:10	中で確認をしたいんですけど。
0:56:14	(1) - 26 ページの
0:56:17	寸法書いていただいているやつが構造の
0:56:21	ここの
0:56:22	異物逃し溝の
0:56:25	隙間って言ってるのは半径方向、
0:56:31	のことで、
0:56:35	時空系内面と主軸外面の
0:56:40	クリアランスのことを言っているのかそれとももう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:44	時空系ぱっとの厚みのこと言ってるのかどちらのこと言われているんですかね。
0:56:50	9電のテラタです。ちょっと待ってください。
0:57:03	はい、九州電力のタカミです。この東三つ下につきましては、
0:57:10	主軸の外周と
0:57:14	なんて言うんですかね、毛布溝半径方向ですね、なぜこのたつとの大きさというよりかは時空系クリアランスレベル南端というでした。
0:57:25	で、半径方向の
0:57:27	大きさになります。成長するですぱっとを無視して、
0:57:32	クリアランスだっていうことですね。
0:57:34	そうです。9円高にする程度認識で問題ありません。わかりましたありがとうございます。
0:57:41	ちょっとお待ちください。
0:57:49	規制庁のイワノです。お待たせしました。
0:57:52	すみません。ちょっと最後のまとめに入り前にもう1点だけ確認したいんですけども、基本1ページ目のところに書いてある確認事項リストの8番目のところの話なんですけれども、
0:58:07	今回基本設計方針のところの文章に新しく浮遊砂に対する耐性を有することっていうところを追加していただいていると思うんですけど、この追加した意図について、ちょっと確認したいんですけども、
0:58:24	これは今回
0:58:30	海水ポンプの構造が上昇量から下降流化や隔離から上昇流に変わったりだとか、上のところの構造を取り外したりだとかそういうこと。そういう今回の改造による
0:58:48	設備の制度変更によって、
0:58:51	今回この浮遊砂に対する耐性を有することっていうところ新たに追加したのか、それともそうではなくって、従来からこういう浮遊砂に対する耐性を有することっていうのは書いて確認をしていたけれども、以前の
0:59:07	新基準のときの基本設計方針では浮遊砂の体制摩耗の影響みたいなことが書き書き切れていなかったもので、当適正化として、ここの部分を追加したと。
0:59:24	ということなんですかねその前者なのか後者なのかっていうところをちょっとあの確認させていただければと思います。
0:59:31	九州電力のテラタですけども。
0:59:34	個社になります。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:40	はい、規制庁のイワノです。訴追いたしました。ちょっとこちらのほうでも、最終的にこの記載ぶりのところで問題ないかっていうのは、ちょっと確認させていただければと思います。
0:59:53	よろしいですか。
0:59:54	はい、規制庁のイワノです。それではちょっと全体的な話をさせていただきたいんですけども、ちょっと際の途中でも話したんですけども、今回 0.1 から 1.2 っていうところの粒径を見ていて、
1:00:09	で、ここのクリア異物逃がし溝に入る粒径までの大きさの粒径については、こういう設計です。それ以上についてはこういう設計です。っていうのがですね、この資料の中では
1:00:24	分散していろんなところに書かれてはいるんですけども、最終的にその網羅的に国庫ここについては本当に漏れ網羅的に漏れてないのかどうかっていうところのがですねなかなかちょっと読み取れのが難しいんですよ。
1:00:41	それは摩耗についてもそうだし、閉塞についても同じようにもう網羅的に粒径に対して網羅的に見えているのかっていうところがちょっとよくわからないっていうところが、ちょっと懸念しているところで、今の書きぶりの中に最後にそれをまとめて、
1:00:58	この書きぶりですね例えば閉塞であれば閉塞の(5)番に各科全部まとめて書くか、当摩耗については、(4)のところについてまとめて書くか。
1:01:11	っていう方法もあるし、また何か一番最後に補足説明として、
1:01:17	この粒径については摩耗についてはこうで閉塞についてはこうでっていうのを表なり何なりで、のす整理していただくっていうどちらの方法でもいいんですけど、何かしらその網羅的に検討がされているっていうことがわかるように、資料を追加するなり修正するなりしていただきたいんですよ。
1:01:36	いかがでしょうか。
1:01:39	9年のテラタです。了解しましたさせていただきます。
1:01:45	すいません規制庁のイワノですね、すみません、あとちょっと追加でその粒径に対しては、待とうとどういう設計対応するかっていうところもまで書いていただければ幸いです。例えば1ここにこの粒径については異物逃がし溝で、
1:02:04	摩耗しないよ。当閉塞しないような設計にしていますとかそういう設計のところの対応までですね、すみませんよろしくお願いします。
1:02:13	はい、了解しましてはちょっといさせていただきます。
1:02:23	はい、規制庁の今野です。お願いします。こちらで準備した確認事項っていうのは、これで当然部ですので、九州電力の方から全体通して何かあればお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:02:49	原子力事業本部いかがでしょうか。
1:02:58	このようなですねと聞き痕跡超えてますでしょうか。
1:03:01	家申し訳ございません九州電力エナミですねと。本日ご説明しますと、事故につきまして低角いただきましたコメントにつきましては、弊社のほうから内容について確認させていただくような事項ございません。
1:03:15	以上です。
1:03:17	はい。
1:03:18	はい、規制庁の岩田です。ありがとうございます。資料なんですけど、スケジュールの話でいつぐらいにできそうでしょうか。
1:03:42	はい。
1:03:45	九州電力、九州電力の複並です。主管部落ちてよいぐらいこっちの人来週ちょっとお休みともございますけども 24 日までには御提出させていただき、見せていただきたい。
1:03:58	事務局。
1:04:05	はい、規制庁の伊ワノですでは 24 日までにということで承知いたしました。スケッチ政党処置させて九州電力のほうから最後に何かあればお願いします。もしなければこれでヒアリングを終了したいと思います。
1:04:20	原子力発電本部、お願いします。
1:04:25	はい、九州電力エナミです。はい、経営者の方から特にございません。ありがとうございました。
1:04:32	はい。
1:04:34	規制庁の今の是正へと承知いたしました。ありがとうございます。それでは本日のヒアリングを終了したいと思います。ありがとうございました。
1:04:42	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。